

令和元年度 保幼小連携地区ブロック活動報告書

1 地区ブロック名 中央 地区ブロック
 今年度のテーマ ポイントとなる姿（ 協同性 ）

2 地区ブロックの組織（ブロック内学校・園・所名）
 ・桃井小学校 ・清心幼稚園 ・明星幼稚園
 ・大手町くりの木保育園 ・**長昌寺保育園**

3 連携推進活動（実施した交流活動等）

日 時	場 所	内 容
5月16日（木）	総合福祉会館 多目的ホール	第1回地区ブロック全体会
6月11日（火）	桃井小学校	・公開授業 6月は1年学年で 給食試食会、講演会あり
12月4日（水） 3時限～5時限		
8月2日（金）		・保幼小研修会
10月29日（火）	明星幼稚園	・保育参観 お買い物ごっこ
○11月7日（木）	長昌寺保育園	・お買い物ごっこ 地区ブロック研修会
6月14、28日 7月12日 8月30日 9月13、27日 10月25日 11月8、25日 12月13日 1月24日 2月14、28日	清心幼稚園	・開放日

4 令和2年度の代表校園所【 大手町くりの木保育園 】

5 これからの保育・教育に生かしたいこと

- 2歳児の「お買い物ごっこ」の中に、社会生活との関わりを意識した先生方の支援をたくさん見させていただきました。1つは集団生活に必要なルールです。自分の順番をきちんと待つこと、譲り合って役割分担をすること、相手が気持ちよくなるような声掛けをすることなど、園児が主体的にルールを守って活動をしていました。また、先生に言われたからする、という一方的な教え込みではなく、大切なことを園児に気付かせ、園児の言葉で引き出している点も参考になりました。

2つ目は、一人一人を大切にしたい園児との関わりです。先生方が一人一人の良さをその場その場で逃すことなく認め、称賛していることで園児の表情は生き生きとしていました。こうした関わりが園児の安心感につながっているのだと思います。

小学校では、一学級あたりの人数も増えているため、常に全ての児童に目を配り、良さを見取る、というのは厳しい面もあります。けれども、子どもたちが就学前教育の中で培ってきたもの、その手段は小学校でも生かすべきだと強く感じました。児童が心地よく生活するために、自分たちで考える学級のルールや、一人一人の良さを児童同士でも認め合える雰囲気作りを、今後も大切にしていきたいと感じました。

- 2歳児のお店屋さんごっこはどのように行われるのか、今回の研修で見させていただき、保育者の様々な工夫、配慮が感じられました。言葉の発達やごっこ遊びができるようになってくる年齢で、生活の中での経験をもとに活動が考えられていると感じました。

保育者の丁寧に声掛けだけでなく、視覚からの情報（色ガムテープでのチーム分けなど）で子どもたちも戸惑うことなく参加することができていました。年齢に合った情報の提供が必要だと改めて感じ、今年度受け持っている年長児に就学を意識しつつ保育を進めていきたいと感じます。

お店屋さんごっこの品物は保育者のアイデアや心のこもったものであることも、子どもたちの興味によりつながり、また手作りだからこそその温かみを感じられ、「大切に使う」ということが自然と芽生えてきていると感じました。手作りおもちゃで遊ぶことができる環境設定を工夫していきたいと感じます。

- 2歳児のお買い物ごっこということはどうなるのかな？とイメージがわきにくかったのですが、子どもたちはワクワク、期待感を持ちながら、楽しむ姿が見られました。それはカバンや品物など丁寧に作られ、魅力的なものになっているからだな、と感じました。また、異年齢と関わることで、表情や話し方に変化が見られ、他者との関わり方を実体験を通して育んでいる姿を改めて感じることができました。

今回の研修では「社会性」について改めて考えるよい機会となりました。

- ルール説明や待つこと、なりきり体験や実体験を踏まえた場面設定などは、効果的に集団を学ばせるのにとっても有効だということを感じました。

日頃からの担任の先生との関係性や園の雰囲気が保育にはっきりと表れるので、0歳児からの基盤をしっかりと培っていき、小学校へとつなげていきたいと感じます。